



ボラン・て

4月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～



杉並区社会福祉協議会
地域福祉活動費助成金事業
歳末たすけあい募金をもとに実施しています。



「NPO法人みかんぐみ」は、杉並区社会福祉協議会「令和4年度地域福祉活動費助成金」チャレンジ応援助成を活用して、「重度障害児者が安心して暮らせる地域づくりプロジェクト」を開催しました。有事においても障害児者が安心して住み続けることのできる地域の構築を目指しています。

【特集】 NPO法人みかんぐみ 代表理事 むら かずひろ 村 一浩 さん(写真右側)
理事 むらばやし るみ 村林 瑠美 さん(写真左側)

3面・・・チャレンジ！ボランティア報告
タオルのご寄付報告

4面・・・職員紹介
ホームページリニューアルのお知らせ

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。
いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

「NPO法人みかんぐみ」（以下「みかんぐみ」）の活動母体は、2014年頃杉並区立こども発達センターの1～2歳児グループです。病院を退院した医療的ケアが必要な障害児とその家族が、初めて経験する日々の苦悩を想い集まったことがきっかけとなりました。通園を通じお互いに解決の糸口を探り成長を喜び合いながら幸せの実感を積み上げ、2018年からNPO法人として活動することになりました。団体会員は現在約50名。みかんぐみは、これから学齢期・成人期を生きていく障害のある子どもたちに対して、「大丈夫だよ」と言える現在と未来を創り出すことを目指します。

団体の活動内容

具体的な活動内容として4つの柱があります。

- 1.障害児・者とその家族のためのコミュニティ創出、
- 2.障害児・者に関する調査・研究・情報発信、
- 3.障害児・者とその家族のための就労支援、
- 4.情報交換、ネットワーク構築（ピア交流会等の実施）です。

助成金事業について

令和4年度の助成金では①相続に関する勉強会（5月）②相続手続きワークショップ（11月）

③防災ワークショップ（7月・9月・12月の計3回）の講座を開催しました。内容に関しては、先にみかんぐみの会員（主に医療的ケアが必要な方の家族）に困り事や関心の高いことを調査して決めました。

①と②は会員の関心が非常に高く、知りたいという声が多かったものです。障害児のご家族は自分が先に亡くなることを意識していて、今、自分ができるとの情報を集めています。

また③も会員の関心が高く、災害が起きた時のことを不安に思っています。しかし、災害についてはじっくりと考える機会が少なく、今回、専門の方から学ぶ機会を得ることができました。ワークショップでは、杉並区内の支援者の方や行政関係者だけでなく、オンラインで北海道から沖縄まで全国各地の方が参加され、より具体的な議論を進めることができました。



▲③防災ワークショップ
(7月・9月・12月の計3回)

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回はその中の一つ、チャレンジ応援助成団体※「NPO法人みかんぐみ」代表理事・村一浩さんと理事・村林瑠美さんに対象事業についてお話を伺いました。

※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

助成金事業を通じた地域とのつながり

防災ワークショップに参加してくださった方々の目的意識はそれぞれ異なっています。住んでいる地域の町会や役所・保健センター等の行政に向いて働きかけている方もいれば、何もしていなかった方もいました。ただ、一人で働きかけるのではなく、地域で働きかけていくことが大切だと思います。

この事業のねらいは、みかんぐみの会員だけではなく支えてくださる地域の方々にも参加していただき、ネットワークを作りたいということです。例えば、災害時に備え自宅や救護所以外の第3の避難場所についても考えていきたいと思っています。

この事業の成果は、地域の方々が一緒に考えていくプラットフォーム（土台や基盤）ができつつあることです。従来、障害のある方々が地域に出ることは少なかったように思いますが、このような機会を通じ、自分たちの存在を地域の方に認識してもらうことができました。また最近、荻窪タウンセブンの方から「地域の人が集える場をつくるにあたり、障害のある人にも足を運んでもらいたいが、どんな配慮が必要か」と相談を受けました。今、自分たちの存在をオープンにできる機会が増え、地域とつながりを持てるようになりつつあることはうれしいです。

今後の活動について

みかんぐみに関わる障害児は、未就学児や小学校低学年の子が多くいます。就労継続を希望する保護者へのサポートは、重い障害のある子を持つ保護者に対しても非常に重要です。また、いわゆる健常児は小学生になれば塾に行ったり習い事をしたりと学校以外の居場所を選べますが、重度障害児は選ぶことがほぼできません。そのため、障害のある子もない子も、誰でもいられるような居場所を作りたいと思います。子ども達の生き方の選択肢を増やし、本人目線で生き活きと暮らせる社会づくりを、今後も取り組んでいきたいと思っています。



▲表紙のメッセージを作成中



▲③防災ワークショップの様子

特定非営利活動法人 **みかんぐみ**
ハンデがある人もない人も、
その人らしい人生を



HP : <https://mikanugumi.com>

報告

チャレンジ！ボランティア特別企画 地域活動ことはじめ～私はコレで、ボランティアを始めました～



3月18日（土）ウェルファーム杉並3階において、杉並区地域課（すぎなみ地域大学担当）との共催で開催しました。「これからボランティアを始めたい」という方々を対象とし、杉並区内ですでに活躍している4名の先輩ゲストをお招きしてお話を伺いました。16名の参加者が熱心にゲストの話に耳を傾け、多くの質問が出され、参加された方々の地域活動に対する熱い気持ちが伝わりました。受講後の感想も「ボランティアについて理解できた」「自分でも一歩踏み出せそうです」「自分もなにかしてみたい」など嬉しいお言葉を多くいただきました。

本講座をきっかけに、新しい一歩を踏み出していただければ幸いです。



▲4名のゲストによる座談会

▶稲葉文子氏
(子育てきずなサロン
ぐーちよきぱあ代表)

▶山崎武志氏
(フリーボランティア)



▶山城隆盛氏
(マルチボランティア)

▶志津壽彦氏
(すぎなみムーサ理事)



報告

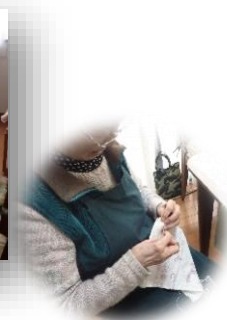
タオルのご寄付をありがとうございました！

ボラン・て1月号でタオル寄付を募集したところ、鹿島ボランティアネットワーク様をはじめ多くの方から、400枚を超えるタオルや手ぬぐいをいただきました。

このタオルを使い、福祉施設等で活用いただくための雑巾や、お子さんのスタイ（よだれかけ）、足ふき等をボランティアの方々に縫製していただきました。縫製はボランティアグループ「柿の実会」、小さな場づくり会「布遊びの会・糸」、「椿の会」や有志の方などにご協力いただきました。皆さんのボランティア活動により地域でのつながりが広まりました。ありがとうございました。



▲雑巾を縫ってくださるご近所のなかよしグループです（椿の会）



▲一針ごと心を込めてくださっています

ようこそ！

きずなサロン Vol.1 阿佐ヶ谷地区

◆子育てきずなサロン すぎまば青空マルシェ

- ・活動場所: 和田堀公園やき広場等 (大宮2-22)
- ・活動日時: 月1～2回(不定期) 10:30～13:30
- ・活動内容: 屋外開催の子育てサロンです！
- ・協力金: 200円

【子どもの見守りボランティア募集中！】



団体名: community plus

★「きずなサロン」は地域の方々がふれあい、交流する場です。世代を問わずみんなで集まり、支え合える関係ができることが期待されています。

きずなサロンについては、杉並区社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉推進係へお問い合わせください。 TEL: 03-5347-1017
ホームページ
<https://sugisyakyo.com/suishin/kizuna.html>

今後の開催予定等は
Instagramで発信中！



令和5年度杉並ボランティアセンター職員紹介

- ①名前
- ②担当業務
- ③私の健康法

地域支援課長

- ①中島
- ②ささえあう地域づくり全般
(実際は書類確認が6割、話を聴くのが4割)
- ③音楽を聴きながら歩くこと



杉並ボランティアセンター所長

- ①竹嶋
- ②センター業務全般、運営委員会等
- ③睡眠(すぐに眠れます！)



異動しました



5年間大変お世話になりました！
社協に入職して1年目で配属されたのがボラセンでした。ボラン・てから始まり、夏ボラや災害、福祉学習など…様々な事業を担当するなかで、たくさんのお会いがありました。皆さんとの出会いは、私にとって大きな“宝”となりました。

ボラセンからは離れますが、社協職員であることには変わりませんので、お会いした際はぜひお声掛けください！5年間ありがとうございました。(坂西)



ボラセン配属の1年はあっという間でした。情報紙の担当をさせていただき、地域の方々と多く接する機会をいただきました。学びが多く、私にとって貴重な1年でした。ありがとうございました。4月からはささえあい係に配属です。また皆さまとお会いできますように。ありがとうございました。(遠藤)

①江口

- ②地域福祉活動費助成金、傾聴ボランティア、ホームページ
- ③2週に1度の銭湯



①小山

- ②災害ボランティア、福祉教育、夏のボランティア
- ③ストレスをためないこと



①平澤

- ②特技さん、傾聴ボランティア、チャレンジボランティア
- ③近所の善福寺公園を散歩して毎日10,000歩、歩くこと。



①山田

- ②情報紙、チャレンジボランティア
- ③半身浴をする。たくさん笑う。



杉並ボランティアセンターのホームページが新しく生まれ変わりました！

これまで皆さまに愛され続けてきたホームページ「ぼらせん.jp」が、4月からリニューアルいたしました。

これまで以上にご活用いただけるよう、センター職員も多くの有益な情報を発信していきたいと思っています。

ぜひ一度リニューアルされたホームページをご覧ください。



▲Web版



▲スマホ版

旧 URL <http://borasen.jp/> → 新 URL <https://borasen.jp/>



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: <https://borasen.jp/>

うえるくん

杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日

8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド(区内 JR、地下鉄丸の内線など)・他